

■『関市21世紀中学生リーダー養成研修会』の成果と課題

今回の事業に参加した生徒は生徒会の執行部であり、学校においては生徒会活動を通してリーダーシップを発揮する立場にある。しかし、校種の違う異年齢集団の中で指導・助言することはこれまでほとんど経験していない。今回のように地域の中学校を卒業した先輩として中学生をリードする体験や地域に活躍の場を広げる取組は、生徒の視野を広げ、リーダーとしての自覚を一層高められることが実感できた。また、この研修会に参加した中学生の多くが市内全11中学のリーダー候補で、将来、関高校への進学を希望する可能性が高い生徒であることも、この事業への参加が意義深いと考える。

また、参加した本校の生徒は、自ら関市の将来について考える資料づくりを通して改めて地域に目を向けることができた。その中には、関市が抱える課題も含まれるが、生徒は関市のマイナス面よりもプラス面に着目し、それらを関市活性化の資源として活用しようとしていた。地域の発展について真剣に考えるその姿に大人にはない若い世代のエネルギーと頼もしさを覚えた。こうした取組は今後も継続し、「関ふるさと学習」など、夢プランのその他の事業にも協力・参加していきたい。

なお、この取組は朝日新聞出版社の「AERA」高校力企画12月23日号「人間力が育つ最強高校 全国169高校アンケート（コミュ力・部活編）」の中でも、「地域社会との取組で特筆すべきもの」として紹介された。